



宗蓮日掌合にのい

山性妙 華龍西
妙頭寺

平成24年 春号
第2号

〒720-0832福山市水呑町1617
TEL: 084-956-0004
住職 赤星 龍憲

千部会

住職 赤星 龍憲

間もなく妙頭寺の最大行事である千部会がやってまいります。当山の千部会も今年で数えること百五十六回。例年、五月の第二土曜日に執り行われておりますが、今年 は都合により五月二十六日(土)に変更になりましたので、お間違いのないようご参拝ください。

ここで、妙頭寺の千部会について、皆さんにより理解を深めていただくためにご説明いたします。

千部会とは

千部会とは、祈願、供養、報恩のために法華経全八巻を千部読経すること、その起源は遠く奈良時代にまでさかのぼり、『続日本書紀』によると「天平二十(七四八)年

七月、聖武天皇が先帝元正天皇の崩御に際し、法華経壹千部を書写して供養した」というのがはじまりだとされています。

妙頭寺の千部会では、水呑門中並びに有縁のご寺院のご出仕をいいただき、法華経を誦誦し、戦没者英霊と檀家各家先祖霊位の供養、あわせて檀家各家家内安全、所願満足を祈念いたします。

千部会では、お寺さんの読経だけでなく、一人でも多くのお檀家さんにお参りいただき、百人が二百人、二百人が三百人と少しでも千部に近づきましょう、みなさんと共に心をあわせてお経を読み、功德を積みたいと思います。

塔婆供養

塔婆建立の功德について、日蓮聖人は幼くして世を去った姫御前の十三回忌供養のため、佐渡から身延を訪ねた中興信重夫人に送られた手紙に、未来の成仏を祝福され「亡くなった幼子の娘さんの十三年に、丈六の卒塔婆をたてて、その表に南無妙法蓮華経の七字を書き表したならば、北風が吹けば南海の魚もその風にあたって大海の苦をはなれ、東風が来れば西山の鳥や鹿も、その風を身にふれて畜生道をまぬがれて成仏するでしょう。これより後々の卒塔婆にも法華経のお題目を表わしてください」と記されています。

宝塔過去帳入り

千部会では、塔婆供養と合わせて宝塔過去帳入りが行われます。これは各家先祖の戒名を巻物仕立の過去帳に記載し、本堂内に祀ら

れている宝塔に納め回向されるものです。特に、新たに亡くなられたご家族の過去帳入りをお勧めいたしますが、古い御先祖の過去帳入りもお申し込みいただけます。

【千部会大法要】

◎五月二十六日(土)

午前十時

施餓鬼供養

(塔婆読み上げ回向)

午前十一時三十分

法話 村田龍学上人

(和歌山市養珠寺御住職、

日蓮宗全国布教師会

連合会常任理事)

演題 「お題目に生きる」



午後一時三十分

漸読法華経千部読誦会・

法楽加持

役員総会のご報告

四月二十一日(土)午前十時より平成二十四年度役員総会が開催され、左記の議事が討議、承認されました。

一、平成二十三年度 事業報告、決算報告(別紙参照)

二、平成二十四年度 行事予定(別紙参照)

三、平成二十四年度 年番役員発表(敬称略)

*年番総代 山本栄一総代
*年番講中

(二年年番の二年目)
宇田一志、小島貞雄
小林孝行、三谷利洋

(二年年番の一年目)
浅利高美、卜部 論
板谷智満、杉原令子

(二年年番)
占部則明、倉田和明、小林祥二
杉原昇司、建内晋作、建内智子

※今年度の年番役員は、来年五月十一日の御遠忌法要が終わるまで、来年度の年番役員と共にご協力をお願いいたします。

四、大覚大僧正、妙性上人、

本性上人、六百五十遠忌奉行

平成二十五年は妙顕寺第二祖・大覚大僧正が亡くなられて六百五十年、平成二十八年は第三祖・妙性上人、平成三十三年は第四祖・本性上人の六百五十遠忌に当たります。妙顕寺では、三師へ報恩感謝の誠を捧げるべく左記のように御遠忌を奉行することとなりました。

①大法要

平成二十五年五月十一日(土)午後
(時間は追って決定。
午前中に千部会法要を行う)

大導師 京都・大本山妙顕寺貫首

和田日佑猥下

②記念事業

イ、永代供養墓建立
ロ、妙顕寺寺宝集編纂

③実行委員会

御遠忌を奉行するに当たり、下記の通り実行委員会を組織

し準備する。(敬称略)

委員長 萩原良明総代
委員 山本栄一総代

浅利 至、宇田一志

建内晋作、森田博巳

五、妙性山墓地の焼却炉は順次撤去いたします。各お墓の枯れた花は、原則お持ち帰りいただきませんが、お持ち帰りできない方のためにごミ箱を設置いたします。ご協力をお願いいたします。

▼平泉・中尊寺 金色堂前にて



▼仙台・孝勝寺にて



こんな行事がありました

◎がんばれ東北復興支援

第十五回霊跡参拝旅行

(四月八日〜十一日)

総勢三十四名で、三泊四日、岩手、宮城、福島を訪ねてまいりました。仙台・孝勝寺では被災者の方々とお会いし、妙顕寺からの支援物資をお渡しいたしました。



◎ 釈尊降誕会花まつり
(四月十七日)
誕生仏に甘茶をかけて、お釈迦様の誕生日をお祝いいたしました。

お寺の 掲示板

法華和讃

日蓮宗には、団扇太鼓をたたき日蓮聖人を讃える歌を歌う「法華和讃」という信仰があります。妙顕寺でも三年前に身延山総登詣の折、有志の方々がこの和讃を久遠寺の大本堂で奉納されました。この度、また和讃を始めたいという声がありましたので、玉泉寺の奥様御指導の下、再開いたしました。経験の有無、男女を問わず、和讃をやってみたいと思われる方は、どうぞご参加ください。詳しくは、お寺にお尋ねください。

【法華和讃の練習】

- ◎ 五月十八日(金)
午後七時三十分より
- ◎ 六月十二日(火)
- ◎ 七月十二日(木)
午後一時より
- 午後二時より 十二日講

フェイスブックを はじめました

寺の最新情報を少しでも早くお届けするために、フェイスブックを始めました。「妙顕寺」では是非検索してみてください。

英会話教室スタート

四月二日より、九人の生徒さんと共に英会話教室が始まりました。気軽に楽しく学べるクラスですので、途中からでもどうぞ自由にご参加ください。毎週月曜日、午前九時半から十時半までです。



心のこぼれ

知識と
生かす
智慧

「知る」という字の下に「日」を入れると「智」となり、意味は変わってくるのである。そして見たり聞いたり体験すると、いろいろと知ることができると。「智」に慧、識能、力がつくくと、真理を認識する智慧、智識、智能、智力などの意味が生まれる。このように、「知る」を本として、人間性に大きな影響を与える熟語ができてくる。情報の氾濫するこの社会にあつて、現代人は多くの知識を持っているが、それを生かす智慧を持たなくてはならないと思う。

(千 玄室、『一服どうぞ』より)